

## 略 歴

### I. 学歴

- 1963年3月 兵庫県立姫路西高等学校卒業  
1963年4月 東京教育大学教育学部入学  
1967年3月 同上 卒業  
1967年4月 東京教育大学大学院教育学研究科修士課程教育学専攻入学  
1969年3月 同上 修了（教育学修士）  
1969年4月 東京教育大学大学院教育学研究科博士課程教育学専攻入学  
1974年5月 同上 単位取得退学  
1978年8月 在外研究員（連合王国）（～1978年10月）  
1995年5月 内地研究員（筑波大学）（～1996年2月）

### II. 職歴

- 1974年5月 埼玉大学講師教育学部  
1976年8月 同上助教授教育学部  
1992年4月 同上教授教育学部  
1996年4月 東京学芸大学教授大学院連合学校教育学研究科併任  
1976年4月 法政大学文学部非常勤講師（道德教育論、日本教育史概説）（～1993年3月）  
1984年4月 東洋大学文学部非常勤講師（道德教育論）（～1986年3月）  
1993年4月 東京大学教育学部非常勤講師（日本教育史概説）（～1993年9月）  
1997年4月 京都大学大学院教育学研究科非常勤講師（日本教育史特論）（～1997年9月）  
1998年9月 筑波大学大学院教育学研究科非常勤講師（日本教育史演習Ⅰ）（～1999年3月）  
2003年4月～ 放送大学分担協力講師（教育の社会文化史）  
2005年4月～ 東洋大学文学部非常勤講師（教育基礎論、教育史概説）  
2006年4月 立教大学大学院文学研究科非常勤講師（日本教育史特殊講義）（～2007年3月）  
2006年9月 高知大学非常勤講師（日本教育史概説）（～2006年9月）  
2009年4月～ 東洋大学大学院文学研究科非常勤講師（比較教育史論）

### III. 学会および社会における活動

- 1969年10月 教育史学会会員「現在に至る」  
1973年8月 日本教育学会会員「現在に至る」  
1981年4月 日本教育史研究会会員「現在に至る」  
1994年1月 日本教育学会機関誌『教育学研究』常任編集委員（～1995年12月）  
1995年10月 教育史学会機関誌『日本の教育史学』編集委員（～1997年9月）  
1995年10月 教育史学会理事「現在に至る」  
2001年10月 教育史学会機関誌『日本の教育史学』編集委員長（～2003年9月）  
2002年1月 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（～2003年9月）  
2002年2月 日本学術会議教育学研究連絡委員会委員（～2003年10月）  
2003年4月 大学基準協会広報委員会委員（～2007年3月）

- 2005年1月 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（～2006年12月）  
 2005年5月 大学基準協会特色ある大学教育支援プログラム審査部委員（～2008年3月）  
 2007年10月 教育史学会代表理事「現在に至る」  
 2008年5月 日本教育学会理事「現在に至る」  
 2008年6月 日本学術振興会質の高い大学教育等推進事業委員会（教育GP）専門委員（～2008年12月）  
 2009年5月 同上（～2009年12月）

## 著作関係目録一覧

2009年9月30日現在

### 〔学術著書〕

#### 〔著書（単著）〕

1. 1987年4月 『近代天皇制と教育』 梓出版社，265頁
2. 1990年5月 『教育勅語への道』 三元社，187頁
3. 1997年2月 『大正自由教育と経済恐慌』 三元社，230頁
4. 2003年5月 『国民道徳論の道』 三元社，230頁

#### 〔著書（編著）〕

1. 1988年1月 「児童観の転換」「新しい学校の誕生」（155－170頁）『教職課程講座第18巻 教育史』（三笠乙彦，森川輝紀編著），日本教育図書センター，367頁
2. 2007年3月 「第1章 公教育と宗教」「第2章 教育における公共性」担当『教育史研究の最前線』（教育史学会編）日本図書センター，345頁

#### 〔著書（共著）〕

1. 1976年5月 「昭和前期の教育」（9－108頁）『世界教育史体系第3巻 日本教育史Ⅲ』（梅根悟監修：海老原治善，上沼八郎，安川寿之輔，森川輝紀著），講談社，427頁
2. 1979年5月 「戦前の学校経営と管理主義的経営論」（422－436頁）『学校その人間化の努力』（木川達爾，大田忠男，齊藤克編著），ぎょうせい，525頁
3. 1979年9月 「ファシズム下の学校と教師」（121－140頁）『学校と教師の歴史』（花井信，千葉昌弘，石島庸男，福沢行雄，梅村佳代，森川輝紀著），川島書店，196頁
4. 1979年10月 「明治・大正期の幼児教育の展開」（286－303頁）『近代幼児教育史』（岩崎次男編），明治図書，371頁
5. 1984年2月 「幕末期における民衆教育の諸相」「教育勅語体制の成立」「天皇制教育の整備・再編」（11－85頁）『日本現代教育史』（川合章，安川寿之輔，川口幸弘，森川輝紀著），新日本出版社，397頁
6. 1984年4月 「『学制』の民衆的受容と拒否」（306－333頁）『講座 日本教育史』第2巻（石川松太郎，入江宏編著）第一法規，393頁
7. 1985年2月 「昭和前期の教育」「占領期の教育」（199－265頁）『日本教育史』（堀松武一，

- 入江宏, 森川輝紀著), 国土社, 286頁
8. 1988年9月 「絶対主義国家と教育」(66-102頁)『公教育の歴史』(伊藤和衛編著), 教育開発研究所, 399頁
  9. 1989年11月 「MORI ARINORI」(39-65頁)『Ten Great Educators of Modern Japan』(Benjamin C.Duke, ed), University of Tokyo Press, 237頁
  10. 1996年3月 「敗戦から新教育へ」(246-264頁)『日本民衆教育史』(石島庸男, 梅村佳代編), 梓出版社, 347頁
  11. 2002年5月 「立身出世主義と近代教育」(271-342頁)『教育社会史』(辻本雅史, 沖田行司編), 山川出版社, 438頁
  12. 2004年3月 「近代教育の進路をめくって」「教育勅語の成立と教育体制の整備」「大衆化する社会と教育」「経済恐慌と戦時下の教育」(89-130頁)『教育の社会文化史』(辻本雅史編), 放送大学教育振興会, 192頁
  13. 2008年3月 「近代教育の身体と時間」「教育をめぐる自由と統制」「試験と出席の社会史」「近代学校の表徴」(105-182頁)『教育の社会史』(辻本雅史編), 放送大学教育振興会, 233頁

#### 〔論文〕

1. 1971年3月 「田中不二麿の教育思想に関する一考察—欧米視察と『学制』改革への指標—」『教育学研究集録』(東京教育大学大学院教育学研究科編)第10集, 21-28頁
2. 1972年5月 「教育令の成立に関する一考察—明治政権の確立過程を視点に—」『日本歴史』(日本歴史学会編)第288号, 47-61頁
3. 1973年3月 「寛政異学の禁に関する一考察—松平定信における『学問』と『教育』—」『教育学研究集録』(東京教育大学大学院教育学研究科編)第12集, 39-47頁
4. 1973年9月 「明治九年真壁町屋騒動の教育史的検討—『学制』政策転換の前提—」『教育運動史研究』(教育運動史研究会編)第15号, 19-29頁
5. 1976年3月 「郷学論考(一)」『埼玉大学紀要教育学部(教育科学)』第24巻, 23-35頁
6. 1978年3月 「森有礼小考」『埼玉大学紀要教育学部(教育科学)』第26巻, 79-88頁
7. 1978年3月 「明治大正期の幼児教育の展開」『近代幼児教育史研究』(近代幼児教育史研究会編)第3号, 138-154頁
8. 1980年3月 「英国の新聞報道に見る岩倉使節団」『埼玉大学紀要教育学部(教育科学)』第28巻, 13-26頁
9. 1981年3月 「青年教師像の形成に関する一考察—小林秀三と守屋喜元の日記を中心に—」『埼玉大学紀要教育学部(教育科学)』第29巻, 35-49頁
10. 1982年3月 「進級・卒業判定考」『日本教育史研究』(日本教育史研究会)第1号, 26-49頁
11. 1983年3月 「埼玉県における啓明会運動と小学校教員会の成立」(森川輝紀, 竹内敏晴)『埼玉大学紀要教育学部(教育科学)』第31巻, 15-30頁, 分担; 19-30頁
12. 1984年7月 「埼玉県の啓明会運動について—会員層の社会的基盤の検討を中心に—」(森川輝紀, 竹内敏晴)『教育運動研究』(教育運動史研究会編)第18号, 126-141頁, 分担; はじめに, II (129-134頁), おわりに

13. 1985年3月 「昭和恐慌期の地域と学校（1）—潮止村の学校改革—」『埼玉大学紀要教育学部（教育科学）』第33巻，73-84頁
14. 1985年3月 「昭和恐慌期の地域と学校（2）—自由教育から全村教育へ—」『埼玉大学紀要教育学部（教育科学）』増刊第33巻，45-58頁
15. 1985年8月 「昭和恐慌期の地域と学校（3）—『北足立郡児童文集』と『雑木』を中心に—」『浦和市史研究』（浦和市史編纂室編）第1号，108-129頁
16. 1986年10月 「田中不二磨と教育令—近代教育の岐路をめぐって—」『埼玉大学紀要教育学部（教育科学）』第35巻，39-63頁
17. 1986年12月 「大正期国民道徳論に関する—考察—井上哲次郎の国体論を中心に—」『日本歴史』（日本歴史学会編）第463号，60-78頁
18. 1988年3月 「戦中戦後初期の浦和における教育的諸相」『浦和市史研究』（浦和市史編纂室）第3号，108-129頁
19. 1988年10月 「埼玉の戦後教育運動史研究（1）」『埼玉大学紀要 教育科学』第37巻第2号，67-81頁
20. 1989年3月 「埼玉の戦後教育運動史研究（2）（承前）」『埼玉大学紀要教育学部 教育科学』第38巻第1号，13-25頁
21. 1989年10月 「森文相の死」『教育』（国土社）第513号，108-127頁
22. 1990年3月 「新制中学校教育の出発」『浦和市史研究』（浦和市史編纂室）第5号，183-196頁
23. 1991年6月 「天皇制教育と儀式の位相」『歴史学研究』（歴史学研究会編）第620号，45-53頁
24. 1996年3月 「元田永孚論ノート（1）」『埼玉大学紀要 教育学部教育科学（Ⅱ）』第45巻1号，37-48頁
25. 1998年9月 「元田永孚論ノート（2）」『埼玉大学紀要 教育学部（教育科学）』第47巻2号，17-42頁
26. 2000年3月 「元田永孚論ノート（3）」『埼玉大学紀要 教育学部（教育科学）』第49巻1号，55-65頁
27. 2002年3月 「元田永孚論ノート（4）」『埼玉大学紀要 教育学部（教育科学Ⅰ）』第51巻1号，41-50頁
28. 2002年10月 「吉田熊次論ノート（1）」『埼玉大学紀要 教育学部 教育科学』第51巻2号，43-51頁
29. 2003年3月 「吉田熊次論ノート（2）」『埼玉大学紀要 教育学部（教育科学Ⅱ）』第52巻1号，27-38頁
30. 2005年3月 「田中不二磨の統制主義と自由主義について」『埼玉大学紀要 教育学部（教育科学）』第54巻1号，59-77頁
31. 2007年3月 「田中不二磨の地方巡察使報告書について」『埼玉大学紀要 教育学部』第56巻1号
32. 2007年3月 「田中文政研究の現状と課題」『近代初頭日本における教育の地方分権化・自由化政策の形成』科学研究費補助金研究成果報告書，92-97頁
33. 2008年9月 「教育会と教員組合」『埼玉大学紀要 教育学部』第57巻2号，57-72頁

34. 2009年3月 「『教育勅語』の成立をめぐって」『教育文化』18号, 同志社大学教育文化学会, 1-33頁

## その他

### 〔著書 (単著)〕

1. 1989年3月 『教師になるには』ペリかん社, 150頁
2. 1998年5月 『小学校教師になるには』ペリかん社, 130頁
3. 1998年5月 『中学校・高校教師になるには』ペリかん社, 132頁

### 〔著書 (共著)〕

1. 1978年1月 「激動期の教育と文化」(697-720頁)『近代足利市史』第2巻, 足利市, 1312頁
2. 1979年12月 「日本教育史」(14-39頁)『教育原理の基礎知識』時事通信社, 212頁
3. 1980年4月 「学校教育の歴史」(43-82頁)「教師の歴史」(188-204頁)『教育研究入門』梓出版社, 256頁
4. 1988年3月 「教育体制の再編拡充」(109-134頁)「新教育と公民教育」(33-362頁)「農村振興教育と教学刷新」(554-585頁)「戦時教育の展開」(703-728頁)『所沢市史 近代史料Ⅱ』所沢市, 821頁
5. 1990年3月 「明治期の教育」(247-309頁)「大正・昭和初期の教育」(517-564頁), 「教学刷新と学校」(692-699頁)「戦時下の教育」(744-755頁)『浦和市史 通史編Ⅲ』浦和市, 779頁
6. 1990年3月 「戦後の教育改革」(263-329頁)『所沢市史 現代史料』所沢市, 995頁
7. 1992年11月 「教育体制の再編拡充」(274-283頁)「新教育と公民教育」(359-369頁)「農村振興教育と教学刷新」(447-457頁)「戦時教育の展開」(483-490頁)「戦後の教育改革」(558-570頁)『所沢市史 下』所沢市, 719頁
8. 1993年3月 「郷学校と小学校」(67-74頁)「町村制と小学校」(178-190頁)「小学校の整備と発展」(216-226頁)「義務教育制度の拡充」(307-312頁)『蕨市史 資料編3』蕨市, 824頁
9. 1996年3月 「新市域と旧市域の小学校」「進路問題と準備指導」「職業指導と高等小学校」(564-578頁)『東京都教育史』第3巻, 1074頁
10. 1997年3月 「第1次6・3制整備計画と二部授業・超過学級」「過大都市化と教育環境問題」(708-715頁)『東京都教育史』第4巻, 1370頁
11. 1997年3月 「埼教組の結成と戦後教育の出発」(89-136頁)「軍幹部の干渉・弾圧と教育行政の民主化を求めて」(139-175頁)「教育の逆コースと平和教育運動の展開」(179-231頁)『埼教組史』第1巻(資料編)埼玉県教職員組合, 798頁
12. 1999年11月 「教育学部の発足」(349-362頁)「大学の改組・拡充計画と教育学部」(364-373頁)『埼玉大学50年史』, 1055頁
13. 2002年3月 「埼教祖の結成と戦後教育の出発」「軍政部の干渉と教育行政の民主化を求めて」「サンフランシスコ体制と平和教育運動」(36-127頁)『埼教組史』第1巻

(通史編), 421頁

### 〔論文〕

1. 1981年4月 「『除籍簿』と落第者」『日本教育史往来』1号, 日本教育史研究会
2. 1981年7月 「教育人国記(埼玉県)」『学校経営』第26卷8号, 第一法規出版, 114-119頁
3. 1986年4月 「戦争動員の支柱 天皇制教育」『文化評論』301号, 新日本出版社, 47-57頁。  
(1986年6月『天皇制を問う』文化評論保存版に再録)
4. 1986年9月 「井上哲次郎の不敬事件」『日本教育史往来』39号, 日本教育史研究会, 1-2頁
5. 1987年1月 「共立の思想と商業教育」『広報とろざわ』579号
6. 1987年9月 「『子爵田中不二麿伝』解説」伝記叢書19『子爵田中不二麿伝』大空社, 1-6頁
7. 1987年11月 「新制中学校の建設」『広報とろざわ』589号
8. 1988年9月 「下賜本の上と並」『日本教育史往来』53号
9. 1990年3月 「埼玉教育の個性を求めて」『新編埼玉県史だより』34号, 5-8頁
10. 1991年4月 「『国民道徳ニ関スル講義』解説」日本教育史基本文献・史料叢書4『国民道徳ニ関スル講義』大空社, 1-7頁
11. 1991年4月 「『修身科講義録』解説」日本教育史基本文献・史料叢書5『修身科講義録』大空社, 1-6頁
12. 1992年10月 「日本教育史の研究動向」『日本の教育史学』第35集, 教育史学会, 242-249頁
13. 1998年3月 「影と光のポーランド」『地理学研究報告』18号, 埼玉大学教育学部, 18-22頁
14. 1998年4月 「『教育史研究(創刊号~第7号)』解説」日本教育史基本文献・史料叢書50, 大空社, 1-8頁
15. 1999年3月 「ポーランド再訪—ワルシャワのピエタと久米の近代—」『地理学研究報告』19号, 埼玉大学教育学部, 70-74頁
16. 2001年2月 「なぜ、また、教育勅語なのか」『第2期戦争責任』第5号, 5-13頁
17. 2001年12月 「『日の丸』と寄せ書き」『日本教育史往来』135号
18. 2005年8月 「日本教育史研究会創設の頃」『日本教育史往来』157号

### 〔事典〕

1. 1984年4月 「マレー」「田中不二麿」「元田永孚」「江藤新平」「河野敏鎌」唐沢富太郎他編『図説教育人物事典』ぎょうせい
2. 1988年9月 「軍人勅諭」「兵式体操」「陸軍現役将校配属令」「教育審議会」「学童疎開」「学校報国隊」, 山住正巳他編『現代教育学事典』労働旬報社
3. 1989年12月 「教育令」「国民精神作興に関する詔書」「田中不二麿」「幼学綱要」「小学校教員心得」「学務委員」細谷俊夫編『新教育学大事典』第一法規
4. 2000年4月 「元田永孚」「教育勅語」「勅語衍義」「田中不二麿」「修身教育」「幼学綱要」『日本歴史大事典』小学館
5. 2003年1月 「偏向教育」「学童疎開」「子もり学校」「自由教育」「新興教育運動」「同盟休校」「練成」『新版 学校教育事典』教育出版

6. 2008年4月 「田中不二麿」「福沢諭吉」「被仰出書」「学制」「教諭」「中学校令」「北方性教育」「新興教育運動」,『教職用語辞典』一芸社

#### 〔書評〕

1. 1980年11月 「山中恒『ボクラ少国民』(全5部)」『児童心理』金子書房, 第34巻第12号, 186-187頁
2. 1985年9月 「中内敏夫『教育の世紀社の総合的研究』」『教育学研究』(日本教育学会編) 第52巻3号, 186-187頁
3. 1986年7月 「清水康幸『皇国民練成体制の理念と方式』への論評」『日本教育史研究』第5号, 96-99頁
4. 1986年8月 「安川寿之輔『十五年戦争と教育』」『生活教育』第453号, 民衆社, 92-93頁
5. 1987年4月 「寺崎昌男編『総力戦体制と教育』」『赤旗新聞』4月27日
6. 1989年5月 「岩本努『御真影に殉じた教師たち』」『赤旗新聞』5月29日
7. 1989年6月 「佐藤秀夫『ノートや鉛筆が学校を変えた』」『教育』第509号, (国土社), 106-107頁
8. 1991年6月 「岡野薫子『太平洋戦争下の学校生活』を読む」『教員養成セミナー』第122号(時事通信社) 194-195頁
9. 1994年8月 「沖田行司『近代日本教育の思想的研究』」『日本教育史研究』第13号, 115-118頁
10. 1995年6月 「久保義三『昭和教育史上・下』」『日本教育政策学会年報』第2号, 183-187頁
11. 1995年9月 「土方苑子『近代日本の学校と地域社会』を読む」『教育学年報4』世織書房, 507-512頁
12. 1997年8月 「高橋陽一『皇国ノ道』概念の機能と矛盾への論評」『日本教育史研究』第16号, 26-30頁
13. 1997年9月 「佐藤秀夫編『続・現代史史料 教育1・2・3』8~10巻」『教育学研究』第64巻3号, 93-95頁
14. 1999年8月 「森有礼の『新生社』体験を読んで」『日本教育史研究』第18号, 64-66頁
15. 1999年11月 「尾崎ムゲン『日本の教育改革』」『図書新聞』2463号
16. 2001年8月 「北田耕也『明治社会教育思想史研究』を読んで」『日本教育史研究』第20号, 110-113頁
17. 2003年4月 「柿沼・永野恒雄編『学校の中の事件と犯罪』①②」『図書新聞』2626号
18. 2006年3月 「小股憲明『近代日本の国民像と天皇像』」『教育学研究』第73巻第1号, 57-59頁
19. 2006年4月 「『新修森有礼全集 別巻二(解題篇)』」『日本歴史』695号, 114-116頁
20. 2007年3月 「寺崎昌男『大学は歴史の思想で変わる』」『じゅあ』38号, 6頁
21. 2007年8月 「佐藤秀夫『教育文化史1(学校の構造)』を読んで」『日本教育史研究』26号, 161-166頁
22. 2009年10月 「須田将司『昭和前期地域教育の再編と教員』を読んで」『日本教育史研究』28号, 141-145頁